

# 日本道德教育学会 第85回（平成27年度春季）大会 開催のご案内及び大会プログラム

日本道德教育学会会長 押谷 由夫  
第85回大会運営委員長 永田 繁雄

会員及び関係各位におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
今は、まさに国を挙げて道德教育の在り方や今後の姿について強い関心が集まっているときです。子供たちの心の育ちへの不安の中、道德教育がそれに十分に向き合っているかという懸念などから、その改善への大きなうねりがあるからです。先の3月に告示された改正学習指導要領は、まさしく、これからの道德教育の方向性を考える重要なステージとなります。  
日本道德教育学会第85回大会は、このような動きの中、6月下旬の2日間、東京の武蔵野の地・東京学芸大学にて、以下の要領にて開催されます。  
当日は全国から集まられた皆さんと、いま求められる道德教育について深く考え、熱く議論し合う場にしたいと、スタッフ一同、鋭意準備を重ねております。ぜひとも多くの皆様のご参加をいただきたく、ここにご案内いたします。

## 大会テーマ 学習指導要領改正 … これからの道德教育の在り方を問う 「特別の教科」としての道德授業はどうあるべきか

### 【大会テーマ設定の趣旨】

道德の時間が学校の教育課程上に昭和33(1958)年に特設されて、今年度で57年目となりました。いま、道德教育は、これまでの足取りの上に新たな歩みを始めようとしています。昨年10月に中央教育審議会が「道德に係る教育課程の改善等について」と題する答申をまとめ、その趣旨に基づき改正された学習指導要領が先の3月27日に告示されたからです。今後、小学校は平成30年度より、また中学校は平成31年度より、改正学習指導要領に基づく「特別の教科 道德」が全面的な実施を迎えることとなります。

しかし、それに向けて、例えば道德科の目標や内容項目の受け止め、教科化の趣旨に基づく教材の開発と活用、能動的な指導方法などの創意工夫、評価の見通しある実施など、私たちが取り組むべき課題は多面的かつ重層的であり、待ったなしの状況であるともいえます。

この歴史的な節目に立つ私たちは、改正学習指導要領の趣旨をどのように受け止め、またそこにどのような課題を見出して、来るべき道德の時代に向かえばよいのでしょうか。また、「特別の教科 道德」の授業にはどのような在り方が求められるのでしょうか。本大会では、それらについて集まられた皆さんの英知を結集して検討しつつ明らかにしていきたいと考えています。

### 【実施の概要】

- 期 日 : **平成27年 6月27日(土)～28日(日)**
- 会 場 : 東京学芸大学 (小金井キャンパス)
  - ・大会事務局 東京学芸大学・永田繁雄研究室内  
日本道德教育学会 第85回大会事務局 (※本学会の事務局と同室)  
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1  
TEL/FAX: 042-329-7881 Mail: nagata@u-gakugei.ac.jp
  - ・運営組織 東京学芸大学道德教育研究会 (関連研究サークルを含む)  
日本道德教育学会東京支部 ほか
- 主 催 : 日本道德教育学会
- 共 催 : 東京学芸大学
- 後 援 : 文部科学省 東京都教育委員会 全国小学校道德教育研究会  
全日本中学校道德教育研究会 全国公民科・社会科教育研究会  
東京都小学校道德教育研究会 東京都中学校道德教育研究会
- 参加申込み : 本学会HP (<http://doutoku-gakkai.sakura.ne.jp/>) より大会申込みの入力フォームを呼び出して必要事項を記入し送信してください。または、同封の別紙によるFAX等にての申込みも承ります。昼食もご希望によりご案内します。
- 大会参加費 : 会 員 : 2000円 学生 : 1000円  
当日会員 : 2000円 懇親会参加費 : 4000円

# 大会プログラム

大会1日目・6月27日(土)

9:30	10:30	11:00	11:45(50)	13:00	13:20	14:45	15:00	17:00	17:30	18:30
理事会	授業 受付	授業公開	大会 受付	開会 行事	パネル討議	鼎談		移動	懇親会	
		附属小学校	(昼食)	南棟S410大教室					生協食堂ホール	

- [ 9:30~10:50 理事会 於：南棟4階S406教室 ]  
 10:30~11:00 授業参観受付 於：附属小金井小学校前(玄関)  
 11:00~11:45(50) (附属小へは「学芸大東門」側からが便利です)

研究授業公開 於：附属小金井小学校内3会場(中学校授業も小学校で)

**実際の授業を見て「特別の教科 道徳」の可能性を考える**

※小学校・中学校の3つの提案性のある道徳授業を参観し、「特別の教科」としての道徳授業のもつ魅力や可能性について考えます。

- 道徳授業 ①(附属小金井小学校2年児童) 指導：遠藤 信幸(東京学芸大学附属小金井小学校)  
 道徳授業 ②(附属小金井小学校5年児童) 指導：幸阪 創平(東京学芸大学附属世田谷小学校)  
 道徳授業 ③(附属小金井中学校1年生徒) 指導：和井内良樹(宇都宮大学・元本学附属学校)

12:00~ 大会参加受付 於：南棟4階S410教室付近にて  
 [お弁当事前申込みの方はS410教室付近にて引換え]

13:00~13:20

**開会行事**

於：南棟4階S410教室  
 総合司会 松尾 直博(東京学芸大学)

- 大会開催校挨拶 出口 利定(東京学芸大学 学長)  
 日本道徳教育学会会長挨拶 押谷 由夫(昭和女子大学)  
 第85回大会実行委員長挨拶 永田 繁雄(東京学芸大学)

13:20~14:45

**パネル討議**

於：南棟4階S410教室

**公開実践をふまえて、いま求められる道徳授業を考える**

※午前の授業の振り返りと各実践者の提案をふまえて、新たな道徳授業への問題提起を含め、これから期待される道徳授業の姿について議論し、深めます。

- パネリスト① 遠藤 信幸(東京学芸大学附属小金井小学校)  
 ② 幸阪 創平(東京学芸大学附属世田谷小学校)  
 ③ 和井内良樹(宇都宮大学・元本学附属学校)  
 コメンテーター 生越 詔二(女子栄養大学)  
 進行・司会 島 恒 生(畿央大学)

14:45~15:00 休憩

15:00～17:00

**鼎談** 於：南棟4階S410教室

**改正学習指導要領とこれからの道徳教育…何が変わり、何が変わらないのか**

※今次の学習指導要領は、これからの課題に向き合い、道徳教育の一層の改善・充実を期して改正されたはずで、それは、私たちにどのようなメッセージを送っているのでしょうか。また、それによっていままでの何を変え、何を引き継ぐべきなのでしょう。登壇者の議論をもとに、まさに、多面的・多角的に検討します。

鼎談者 吉本 恒幸 (聖徳大学)  
富岡 栄 (日本大学)  
澤田 浩一 (文部科学省・国立教育政策研究所)

進行 押谷 由夫 (昭和女子大学)

17:00～17:30 (移動等)

17:30～19:30

**懇親会** 於：大学内・生協「第2むさしのホール」2階

**道徳教育新時代のこれからの大いに語る**

※希望する皆さんで、今までと、今と、これからの道徳教育を語り合ひましょう。

**大会2日目・6月28日(日)**

8:30	9:00	11:50	13:00	13:50	14:00	16:00	16:10
新規 受付	<b>自由研究発表・分科会</b>	(昼食) 評議員会	<b>会員総会</b>	<b>シンポジウム</b>		<b>閉会 行事</b>	
	南棟S101～404各教室(12分科会)		南棟S410大教室				

8:30～ 新規参加受付 於：南棟4階S410教室前

9:00～12:00

**自由研究発表(分科会)** 於：本学内・南棟1～4階教室

※共通の、または類似した研究領域や研究テーマごとに12の分科会に分かれて、それぞれ4～5つの研究発表を行います。(発表20分+質疑10分+移動など5分)

◆ **第1分科会(S101教室)** 司会：大庭 茂美(元九州女子大学)

- 9:00～9:30 ◇ 吉田松陰における「狂」の思想と道徳 — 孔孟の影響を踏まえて —  
牛見 真博(山口県立山口中央高等学校)
- 9:35～10:05 ◇ 近世における儒教道徳の土着化について  
吉原 裕一(国土館大学)
- 10:10～10:40 ◇ 和辻哲郎における「否定」について  
荒木 夏乃(お茶の水女子大学・院生)
- 10:45～11:15 ◇ 生きた道徳をいかに創造するか — 高坂正顕の道徳教育論 —  
山田真由美(慶應義塾大学・院生)
- 11:20～11:50 ◇ 道徳教育の根本精神に関する一考察  
— 「人間尊重の精神」と「人格の完成」を中心として —  
加藤 隆(名寄市立大学)

◆ 第2分科会 (S102教室)

司会：行安 茂 (元岡山大学)

- 9:00～ 9:30 ◇ 人間の本性について — ブランク・スレートと道徳的責任 —  
澁山 昌雄 (島根大学)
- 9:35～10:05 ◇ 人格の完成を目指す・Ⅲ — 無限との調和による知性の飛躍的な向上 —  
藤永 克昭 (道都大学)
- 10:10～10:40 ◇ 定言命法を土台とした道徳教育  
— <仮言命法>と<定言命法>とはどのようなものか —  
寺崎 賢一 (麗澤大学)
- 10:45～11:15 ◇ まず地理からはじめるということ  
— カントにおける地理的道徳教育論の意義を問う —  
広瀬 悠三 (奈良教育大学)
- 11:20～11:50 ◇ ボルノーの道徳教育論から見た道徳性の涵養  
— 「討論や対話などの言語活動」の可能性について —  
佐々木哲哉 (岩手県滝沢市立一本木中学校)

◆ 第3分科会 (S105教室)

司会：貝塚 茂樹 (武蔵野大学)

- 9:00～ 9:30 ◇ 被占領期教育改革における教育理念の変遷について  
— 教育勅語処理問題との関連において —  
緒賀 正浩 (明星大学・院生)
- 9:35～10:05 ◇ 歴史的事例を基にした道徳教育  
— ホロコーストにおける「救援者」の事例を中心に —  
原口 友輝 (中京大学)
- 10:10～10:40 ◇ 我が国の義務教育課程における道徳教育のあり方  
— スペインの価値教育研究からの提案 —  
村越 純子 (埼玉大学)
- 10:45～11:15 ◇ モンゴルの道徳教育の動向と課題  
— 新・旧学習指導要領における「公民教育」を中心に —  
Bayasgalan Oyuntsetseg (モラロジー研究所)
- 11:20～11:50 ◇ 日中小学校における漢字文化の学習を通じた道徳教育プログラムの開発  
○陳 卓君 (千葉大学・院生)・○土田 雄一 (千葉大学)

◆ 第4分科会 (S106教室)

司会：廣川 正昭 (新潟医療福祉大学)

- 9:00～ 9:30 ◇ 何が日本人の道徳性を育むか  
岩佐 信道 (麗澤大学(名))
- 9:35～10:05 ◇ 道徳教育における理念の応用  
小島 一郎 (教育評論家)
- 10:10～10:40 ◇ これからの道徳教育を提言 — 形骸化要因学習指導要領の何が問題か？  
橋本 唯隆 (教育研究者)
- 10:45～11:15 ◇ 認知症対策としての道徳教育の可能性に関する考察  
中野 真悟 (愛知県刈谷市立小垣江東小学校)
- 11:20～11:50 ◇ スポーツはモラル形成に優れたソフトである  
浜中 敏幸 (日本実務出版株式会社)

◆ 第5分科会 (S201教室)

司会：毛内 嘉威 (秋田公立美術大学)

- 9:00～ 9:30 ◇ 「道徳の教科化」に関する一考察  
安井 克彦 (名古屋学芸大学)
- 9:35～10:05 ◇ 道徳の時間の年間指導計画について  
藤井 裕喜 (京都市立大宅中学校)
- 10:10～10:40 ◇ 小学校における日本人としてのアイデンティティを育成する学習の創造  
— 教育活動全体で育み、道徳の大主題学習で深める —  
野村 宏行 (東京都東大和市立第八小学校)
- 10:45～11:15 ◇ 共に豊かに生きる — 「個性の伸長」に係る道徳の授業作りの一考察  
齋藤 道子 (東京都文京区立大塚小学校)

- ◆ **第6分科会** (S203教室) 司会：谷田 増幸 (兵庫教育大学)
- 9:00～ 9:30 ◇ 「読む道徳」を再考する  
石丸 憲一 (創価大学)
- 9:35～10:05 ◇ 道徳科における問題解決的な学習  
浅見 哲也 (埼玉県深谷市立豊里小学校)
- 10:10～10:40 ◇ 児童の関係性を育む道徳授業の在り方 ―問題の解決方法を考える授業の試み―  
関 弘子 (千葉県長南町立豊栄小学校)
- 10:45～11:15 ◇ 価値観をランクアップし、新しい見方・考え方を生み出していける指導過程  
― 中心的な発問で成長実感を ―  
柴田八重子 (愛知淑徳大学)
- 11:20～11:50 ◇ 特別の教科道徳における問題解決的な学習の授業構想  
― 主体的な学習 (アクティブ・ラーニング) と道徳性の育成を図るカリキュラム・マネジメントより ―  
鈴木 明雄 (東京都北区立飛鳥中学校)

- ◆ **第7分科会** (S202教室) 司会：平野 良明 (札幌国際大学)
- 9:00～ 9:30 ◇ 小学校低学年における多様で効果的な指導方法  
― 教科化に向けた道徳授業の改善 ―  
大藏 純子 (岐阜県笠松町立笠松小学校)
- 9:35～10:05 ◇ 児童生徒の心に響く魅力ある道徳授業  
鈴木 賢一 (愛知県愛西市立八開中学校)
- 10:10～10:40 ◇ クリティカルシンキングを高める道徳授業(1)  
尾身 浩光 (新潟市立小瀬小学校)
- 10:45～11:15 ◇ 特別な支援を必要とする生徒が主体的に学ぶ道徳授業  
― 問題解決的な学習や体験的な学習の工夫 ―  
○丹羽 紀一 (岐阜県多治見市立陶都中学校)・柳沼 良太 (岐阜大学)

- ◆ **第8分科会** (S303教室) 司会：行本美千子 (兵庫教育大学)
- 9:00～ 9:30 ◇ 子どもにとっても教師にとっても面白く楽しい授業を目指して(3)  
― 読み物資料の問い返しによる授業展開 (小学校低学年)・道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深めるために ―  
松原 弘 (大阪府和泉市立郷荘中学校)
- 9:35～10:05 ◇ キャラクターを活用した道徳授業の実践  
菅野 マホ (一般社会法人文化教育サポーターズ)
- 10:10～10:40 ◇ 格言の取り扱いについての一考察  
― 「私たちの道徳」の出典を手掛かりにして ―  
川崎 一輝 (龍谷大学・院生)
- 10:45～11:15 ◇ いじめ防止に向けた道徳授業の取り組み  
― 一連の内容項目の指導と生徒の変容について―  
○郡司佳代子 (東京都府中市立府中第七中学校)・賞雅 枝子 (東京都三鷹市立第三中学校)・吉田 修 (東京都府中市立府中第七中学校)
- 11:20～11:50 ◇ 道徳の授業力向上に向けた協働研修の実践  
― 教職大学院の「学校支援プロジェクト」における実践的研究 ―  
○菅原 友和 (上越教育大学・院生)・○桑田 佳奈 (上越教育大学・院生)  
○早川 裕隆 (上越教育大学)

- ◆ **第9分科会** (S301教室) 司会：林 泰成 (上越教育大学)
- 9:00～ 9:30 ◇ 道徳指導への認知科学的アプローチ ― 価値スキーマから状況論へ ―  
山下 俊幸 (関東学院大学)
- 9:35～10:05 ◇ インストラクショナルデザインの観点から見た道徳教育の特徴  
柄本健太郎 (東京学芸大学)
- 10:10～10:40 ◇ 道徳の時間の指導方法としての役割演技の理解に関する基礎的研究  
― 歴史的変遷を中心に ―  
○北川 沙織 (名古屋市立平針北小学校)・早川 裕隆 (上越教育大学)
- 10:45～11:15 ◇ 「二つの意見」を用いた道徳授業の提案  
― PISA読解リテラシーの育成をめざして ―  
中野 啓明 (新潟青陵大学)
- 11:20～11:50 ◇ レゴブロックで資料の場面を再現することを通して道徳性を養う指導  
劔 仁美 (新潟大学教育学部附属新潟小学校)

◆ 第10分科会 (S302教室)

司会：名倉 裕一 (岐阜聖徳学園大学)

- 9:00～ 9:30 ◇ 自作教材開発の要件に関する研究  
— 地域教材開発 (豊岡市・和歌山県) と大学院授業 (自作資料) を基に —  
○淀澤 勝治 (兵庫教育大学)・○川添 龍次 (兵庫教育大学・院生)
- 9:35～10:05 ◇ 郷土を懐かしみ、心のよりどころを実感させる資料の作成  
— 荒川区道徳教育郷土資料の作成を通して —  
松原 好広 (東京都荒川区立第七中学校)
- 10:10～10:40 ◇ 私たちの道徳 (中学校) を活用した人物学習の研究  
— 社会科との連携から資料及び指導法の工夫の提案 —  
○魚山 秀介 (帝京大学)
- 10:45～11:15 ◇ 検定教科書が具備すべき内容 — 教材・資料に関する一考察 —  
名和 優 (京都府亀岡市立詳徳中学校)
- 11:20～11:50 ◇ 社会正義の授業の意義 — 小・中の授業実践からの考察 —  
○鈴木 保宏 (愛知県西尾市立米津小学校)・○中山 芳明 (京都市総合教育センター)

◆ 第11分科会 (S403教室)

司会：柴原 弘志 (京都産業大学)

- 9:00～ 9:30 ◇ 道徳授業における若年経験者教員の躰き傾向分析とその対応  
○松田 憲子 (千葉県子どもと親のサポートセンター)・土田 雄一 (千葉大学)
- 9:35～10:05 ◇ 「特別の教科 道徳」の評価の在り方 — 生徒の変容を把握するための視点 —  
賞雅 技子 (東京都三鷹市立第三中学校)
- 10:10～10:40 ◇ 道徳授業の計量テキスト分析  
小野 耕一 (仙台市立中山中学校)
- 10:45～11:15 ◇ 道徳科の授業評価に関する基礎的研究 — 評価観点設定の視点から —  
田沼 茂紀 (國學院大學)
- 11:20～11:50 ◇ 道徳時間における形成的評価の試み — 原体験による授業実践で —  
○鈴木 豊 (横浜市立南戸塚中学校)・上 憲治 (帝京短期大学)

◆ 第12分科会 (S404教室)

司会：秋山 博正 (くらしき作陽大学)

- 9:00～ 9:30 ◇ 「特別の教科 道徳」を踏まえての高等学校の道徳教育の課題  
小泉 博明 (文京学院大学)
- 9:35～10:05 ◇ 道徳教育の実践のあるかたち 夢・希望そして一期一会  
尾池 良一 (相生学院高等学校 明石校)
- 10:10～10:40 ◇ 高等学校教科「福祉」を中心とした道徳教育に関する研究  
— 児童自立支援施設などの子どもたちの事例を通して —  
柚木 康代 (東京医療保健大学)
- 10:45～11:15 ◇ 書道教育を通しての人間形成 (3)  
渡邊 祐子 (昭和女子大学・院研究生)
- 11:20～11:50 ◇ 「いじめ防止対策推進法」の運用といじめ防止対策について  
— 平成26年7月に起きた青森県立八戸北高等学校の重大事態に関する調査を通して —  
内海 隆 (青森公立大学)

11:50～13:00 昼食・休憩

[お弁当事前申込みの方はS410教室付近にて引換え]

[12:00～12:55 評議員会

於：南棟1階S103教室 ]

13:00～13:50

会員総会

於：南棟4階S410教室

13:50～14:00 休憩

14 : 00 ~ 16 : 00

### シンポジウム

於：南棟4階S410教室

#### 「特別の教科」としての道徳科でこれからの授業をつくる

※「特別の教科」である道徳科が新たな趣旨で実施されることになり、私たちは、その先行実施の期間から強い関心を持ち、できるところから取り組んでいく必要があります。そこで、本シンポジウムでは、1日目の鼎談での学習指導要領の全体的な検討を受け、道徳授業の実施上の具体的な課題に向き合って議論を深めます。

- シンポジスト① 坂本 哲彦（山口県宇部市立西宇部小学校）  
② 白木みどり（金沢工業大学）  
③ 七條 正典（香川大学）  
④ 赤堀 博行（文部科学省・国立教育政策研究所）  
コーディネーター 永田 繁雄（東京学芸大学）

16 : 00 ~ 16 : 10

### 閉会行事

於：南棟4階S410教室

総合司会 松尾 直博（東京学芸大学）

第86回大会実行委員長挨拶 渡邊 満（岡山大学）

日本道徳教育学会副会長挨拶 高島 元洋（元お茶の水女子大学）



## ● ご参加いただくみなさまへ

- ◇ 事前申込みについて…なるべく本学会HP（前出）の新着情報に掲載されています申込みフォームにてのお申込みをお願いします。  
ネット環境などにより難しい方は、同封の用紙にてお申込みください。  
発表される方も、恐縮ですが、お申込みいただくことになります。
- ◇ 昼食について…上記のHP上の申込みフォームまたは申込み用紙にて、27日及び28日のお弁当の申込みを受け付けます。両日とも各1000円で内容は異なります。  
事前申込みのみとなり、当日の申込みはできません。  
学内の生協食堂は休業です。近隣の食堂は数に大変限りがあります。  
なお、正門及び東門の近くのグラウンド門（いずれも徒歩片道約6分）には、それぞれコンビニがあり、そこで昼食を求めることもできます。
- ◇ 荷物について…荷物お預かりの場所（クローク等）の用意は予定しておりません。  
申し訳ありませんが、荷物は各自でお持ちください。なお、ご事情のある場合は対応させていただきますので、どうぞご連絡ください。
- ◇ 宿泊について…東京都内にホテルは多数ありますので、宿泊が必要な方は、申し訳ありませんが、各自でご予約ください。
- ◇ そのほか……飲料の自動販売機、喫煙場所等については当日用冊子にてご案内します。



## ● 会場へのアクセスについて

### ■ JR中央線で武蔵小金井駅下車でバスor徒歩、国分寺駅下車で徒歩が便利です

会場までは、JR中央線で、武蔵小金井駅または国分寺駅にて下車。

武蔵小金井駅よりは、北口側の左方向に、バスが2系統（いずれも京王バス）あります。

◇ 京王バス・5番のりば【武41】小平団地行きで約5分「学芸大正門」降車・徒歩約6分で全体会場

◇ 京王バス・6番のりば【武31】中大循環で約5分、「学芸大東門」降車・徒歩1分で授業会場

国分寺駅よりは、徒歩約20分で学芸大の正門に着きます。路線バスはありません。

いずれも駅前よりのタクシー乗車で正門までの場合、料金は730円または820円です。

なお、国分寺駅前には再開発中のため、タクシー乗り場が分かりにくくなっています。

### ■ 会場にお越しになる時間帯により、その方法を以下にてご確認ください

#### A 1日目（27日） 午前の公開授業から参加される方へ

授業会場（附属小金井小）は、大学の東門に入っすぐです。次の2つが便利です。

① 武蔵小金井より京王バス・6番のりば【武31】中大循環で約5分、「学芸大東門」降車。

② 武蔵小金井駅より学芸大の東門へ徒歩約20分。

正門のバス停からは、キャンパス内の徒歩移動に8分以上かかりますので注意してください。

国分寺駅からの徒歩では、実質25分以上かかります。

#### B 1日目（27日） 午後の全体の研究協議から参加される方へ

全体会場へは、大学の「正門」からが分かりやすいです。

① 武蔵小金井駅より京王バス・5番のりば【武41】小平団地行きで約5分、「学芸大正門」降車。

徒歩約6分で全体会場 「学芸大東門」バス停からも約6分です。

② 国分寺駅よりは、正門から入って会場まで実質、徒歩約25分です。

#### C 2日目（28日） から参加される方へ

全体会場・分科会場へは、大学の「正門」からが分かりやすいです。

① 武蔵小金井駅より京王バス・5番のりば【武41】小平団地行きで約5分「学芸大正門」降車。

徒歩約6分で全体会場

② 国分寺駅よりは、正門から入って会場まで実質、徒歩約25分です。

大学の「東門」は日曜日は閉鎖していますのでご注意ください。日曜日に「学芸大東門」で降車された場合は、そこから北へ約200mのグラウンド門へお回りください。

### 最寄り駅から東京学芸大学へのアクセスマップ

※全体会場・分科会場は大学キャンパス内の中央です。

※1日目午前の授業会場は大学の東門近くです。

